

# 介護医療連携運営推進会議実施報告書

令和 7年 3月 11日

事業所名	定期巡回池上長寿園24	サービスの種類	定期巡回随時訪問型介護看護
電話番号	( 6410 ) 5711	報告者 職・氏名	管理者
開催日時	令和 7年 3月 11日( 火 ) 14:00 ~ 15:00		
開催場所	特別養護老人ホーム 2F 多目的室		
出席者 <u>12人</u>	《内訳》 (地域代表)久が原東自治会会長 久が原地区民生委員, 児童協議会会長 (地域医療関係者) 訪問看護事業所 管理者3名 (区・地域包括支援センター) 包括支援センター上池台 職員1名 包括支援センター 嶺町 職員1名 包括支援センター久が原 職員1名 (事務局) 在宅事業課長 池上事業部門統括事業所長 定期巡回管理者 定期巡回職員1名		

## ◆活動報告・活動計画

別紙「活動報告書」の通り

## ◆事業所に対する要望・意見

・久が原自治会 会長様 より

事例を聞いてありがたいと感じました。近所付き合いが乏しく、情報が集まりにくい現状です。自治会では小学生に自治会の活動に参加してもらい、顔見知りになってもらい、情報の共有化を図ろうとしています。事例のように1人でも多くの方を地域でサポートしていきたいと思えます。

・久が原地区民生委員・児童協議会 会長様 より

一人暮らしの方は民生委員が巡回見守りをしているが、最近姿がみられない等の情報は地域の方々から伝えてもらわないとわからない、一人暮らしの方と顔見知りになるのが難しいのが現状です。

・ 地域包括支援センターより

今回の会議に参加して定期巡回型サービス、定期的に見守るサービスの理解、他のサービスとの違いなど、事例を通して理解しやすかったです。今後もこのような学ぶ機会やチラシ等で情報提供をお願いします。

・ 地域包括支援センターより

室内照明の点灯がある時から点いたままの状態になり、孤独死の発見につながったりしています。定期巡回サービスの空き状況がどうなってるのかわかるのかと思います。

・ 訪問看護事業所 より

道々橋自治会の集会にて役員からお宅訪問時に「ほんとに自治会の方ですか？」と問われることがあるなど、地域で顔見知りになるのが難しくなっているとの意見が聞かれています。嶺町でも畳が腐るくらいになってからの介入、それまで包括の方も介入できなかったという事例がありました。早い段階での発見から介入するまでの地域内の仕組みが必要だと感じます。

・ 訪問看護事業所 より

日頃から定期巡回池上長寿園24 職員の判断力の高さには感心しております。

訪問先にて訪問ヘルパーが入っていても室温調整ができてなくてご利用者が熱発するということがありました。是非定期巡回サービス領域の拡大をお願い致します。

・ 訪問看護事業所 より

事例の方の訪問看護を担当しました。発見時からリハビリを受けたいまでの回復は短時間でも1日数回の必要なところでスポットで入ってもらうことでそれがリハビリになって回復につながっていったと思っています。是非サービスの拡大を願っています。

・ 地域包括支援センター より

独居で認知症の方、内服拒否にて粗暴になりデイサービスも断られ、昨年末に電気が止められてしまうという事態になり、定期巡回に依頼し、年始よりサービス開始、ご本人とも馴染め内服も出来るようになり自宅にて過ごせるようになっている。もうすぐ後見人がつく予定となっている。

◆事務局より

・在宅事業担当課長 より

貴重な時間、貴重なご意見をありがとうございました。人を集めていくのが近々の課題です。大田区へも依頼しておりますが介護現場では16倍率とのことです。

まだまだ介護の社会化ができていない、機能分化、作業の分担化をしていく必要があります。訪問介護でも技能実習や特定技能の枠組みで働く外国人が介護保険の訪問系サービスに従事することが認められました。

事例のように、地域と各サービスが連携できた結果、積み重ねが意欲につながったと思います。大田区とかの大枠ではなく、顔が見えるネットワークが効率的なサービスに繋がっていくと思っていますので宜しくお願い致します。

・ 定期巡回管理者 より

各種サービスの連携を強化して、サービス提供を心掛けていきたいと思うので、今後ともご協力宜しくお願い致します。